

第2代校舎1938(昭和13)年～1953(昭和28)年…初代校舎が1937年に  
出火・消失した翌年、初代と同じく中  
島公園の一角に建設されました。

## ごあいさつ



同窓会長 川島 大介

今年の同窓会総会は 103 回目です。総会のテーマは「再生～ reborn～」です。母校が 100 周年超という歴史の中で、同窓会総会の 100 回の節目には、今日まで育み支えてこられた諸先輩に感謝するとともに、その歴史の重さを感じました。その時代がどんな環境であっても、札幌東高らしい伝統と気質が引き継がれてきました。その重みを踏まえて、総会のテーマも 101 回では「100+1」とし、その伝統の上に、新たな一歩を踏み出しました。更に102回総会では、同窓会の原点である「絆」をテーマにして、諸活動に生かしてきています。そして今年の 103 回総会では、「再生」というテーマが選ばれました。今後の同窓会活動では、「再生」を“何となく”ではなく、“意識して”活動して行きたいと思います。

具体的には、役員会の中に、総務・組織・母校・広報の 4 部会を設け、同窓会の「会員の親睦と母校の発展に寄与する」という目的のための課題を綿密に検討し、時代に合った諸活動にしてきています。一例として、特に若い世代の方々が同窓会に参加していただけるように、ホームページの立ち上げや入会后 3 年間は「同窓会報」をお届けするなどの活動を実施しました。母校への支援も「職業人に聞く会」には、同窓生の講師を派遣するなど、可能な限り母校のニーズに沿った活動を実施しています。その他の活動も、現状を把握し、改善を重ねた活動を実行してきています。昨年は、皆様のご厚意で、東日本大震災への支援も出来ました。ご協力に感謝申し上げます。

同窓会活動の中で、最大のイベントである総会では、活動の詳細を提示し、次の活動に結び付けてきていますが、37,000 人を超える会員の一人でも多くの方にご出席いただきたく準備しています。そして、同窓の絆はもちろん、青春時代を共に過ごした仲間との一時を楽しんでいただきたく願っています。また、今も“克己自強”の校訓の下、年を経ても変わらない生徒たちの情熱あふれる“東高祭”の折にでも、母校へ行かれることを、お勧めしたいと思います。会員皆様には、同窓会を身近に感じていただき、今後とも諸活動へのご参加と、前向きなご提案、ご支援をお願い申し上げます。そこに札幌東高等学校同窓会の前向きな「再生」を意識できる、より充実した活動があるものと思います。



### ごあいさつ

北海道札幌東高等学校長 佐藤 博明

札幌東高等学校同窓会員の皆様には、ご壮健でお過ごしのこととお慶びを申し上げますと共に、平素より本校の教育活動に対しまして、多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成24年度人事異動により帯広柏葉高校より着任いたしました佐藤博明と申します。浅学非才ではありますが、生徒のために、その職責を果たしていく所存です。今後とも会員皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

現在、北海道には245校の公立高校が存在していますが、創立100年を超える歴史を持つ学校は僅か15校です。その中にあって、校訓「克己自強」の下、過去から現在へと脈々と継承されている高い知性と品格、自主自立の精神と何事にも真摯に取り組む姿勢は、社会貢献する素晴らしい人材を輩出し、各分野の北海道を牽引してきた2世紀にわたる東高の教育成果と言えます。少子化が続くであろう未来に向けても、本校のアイデンティティーは不変であり、グローバル化の進む時代にあっても、卒業生としての誇りとプライドを持ち続け、あらゆる世界で光り輝き続けるに違いないことを確信しております。

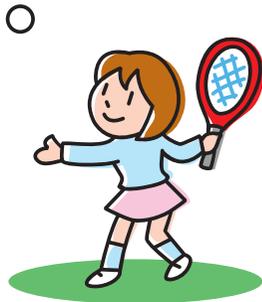
今年の入学式では、本人・母・祖母の3人で参加しているご家族があり、話を聞くと3世代にわたり東高校に関わる事ができたことを満面の笑みで答えてくれました。微笑ましい光景ながら、本人のみならず保護者や地域の方々に目標とされる学校として更なる成長をしなければならないことを改めて感じさせていただきました。北海道教育の中核として着実な進学実績はもとより、遅しさと心の豊かさを兼ね備えた人材育成に向け、教職員と共に一体感のある教育活動に邁進することをお誓い申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

## 『母校は今』

今年も、文化系・体育系クラブの活躍が目立ちました。特に頑張った、全道及び全国大会出場クラブを紹介します。

### 平成24年度前期 部活動報告結果

- 高体連全道大会出場
  - テニス部
  - 陸上部
  - 体操部
  - 卓球部
  - 囲碁将棋部
- 全国大会出場決定
  - 陸上部



卒業生の主な進学先

卒業時期	国公立大学					私立大学			各種学校	就職
	道内	(北大)	道外	(東大)	合計	道内	道外	合計		
平成24年度	95	49	47	1	142	94	81	175	10	0
平成23年度	128	79	40	0	163	71	76	147	10	2

(延べ数)

母校のホームページを開設しています (詳しい戦績や進路先はHPに掲載してあります)

<http://www.sapporohigashi.hokkaido-c.ed.jp/>

## 「102回同窓会を振り返って」

第102回同窓会副実行委員長 第42期 新井田 崇

平成23年 8月19日(金)、札幌パークホテルにて第102回札幌東高同窓会・総会が盛大に行われました。

多くの卒業生に参加していただき、皆の心に残る同窓会となるよう、川島会長、水谷幹事長をはじめ、多くの方々のアドバイス、ご協力をいただきながら、東高28期、42期、51期、61期の当番期実行委員会が一丸となって準備を進めてまいりました。

世帯を越えた東高という絆で結ばれた仲間たちとの再会の思いを込め「絆」というテーマに決定してまもなく、3. 11、あの東日本大震災が東北地方を襲いました。

世の中の自粛ムードから同窓会の開催を危ぶむ声も聞かれましたが、まさに絆の力により、当日は恩師・同窓生約480名の参加をいただき、大盛況のうちに開催することができました。また、微力ながら被災地復興への思いを込め、参加者の皆様、協賛いただいた方々のご協力により、義援金という形で被災地へ送ることが出来ました。

今年度103回開催も同窓の絆を深めるイベントとなり、また、同窓会が永遠に発展することを祈念申し上げます。最後に開催に際しご尽力いただいた、役員、恩師、同窓生の方々、そして実行委員の皆様、本当にありがとうございました。



同窓会・総会記念誌



第102回総会



懇親会の模様



東日本大震災遺児への募金

## 札幌高柔道部OB会の開催

20年以上開催されていなかった『札幌高柔道部OB会』ですが、この度、機運が盛り上がり、2月18日(土)午後6時から狸小路2丁目「銀座ライオン」で開催されました。

当日は、2期から28期まで25名が出席し楽しいひと時を過ごしました。司会の伊豆田常廣氏(旧姓吉田・19期)の開会の挨拶に続いて深谷淳一OB会会長(2期)から、久しぶりのOB会開催を喜ぶと共に耐用年数も過ぎたので永年続けてきた会長を辞したい。ついでに次期会長には堤氏(11期)にお願いし、これからはこの会を続けていって戴きたい、という趣旨のご挨拶がありました。

出席者の拍手で承認を得た新会長の堤氏より、東高柔道部に所属した卒業生の親睦を深め、現役学生の活躍を支援することを目的としたい。次回は何年後になるか分からないが今後ともこの会を継続しようと挨拶しました。

乾杯のあと暫く歓談し、大先輩から順次スピーチを頂戴しました。部創立のときの苦労話、全道大会での活躍、全国大会出場の裏話など当時を思い出し熱弁をふるわれました。また、辛かった稽古や先生の励ましの言葉で現在の自分が在る、柔道部の活動は青春時代の良き思い出であり貴重な体験であった。と言う若い(?)世代からの発言もありました。

幹事の村山忠司氏(26期)の計らいで予定をはるかに超える3時間余りの宴でしたが、あっという間に過ぎてしまい、再会を約して散会となりました。

### ●同期会について

- 平成23年 6月 6日 東高8期 第二名水亭
  - 平成23年 8月 19日 東高28期 札幌パークホテル
  - 平成23年 9月 7日 東高3期 ホテルライフォート札幌
  - 平成23年 9月 10日 東高12期 ホテルライフォート札幌
  - 平成23年 9月 10日 東高19期 きょうさいサロン
  - 平成23年 10月 6日 東高6期 ホテルモントレエーデルホフ
  - 平成23年 10月 21日 東高7期 札幌第一ホテル
  - 平成23年 11月 15日 一高2期 ホテルノースシティー
  - 平成23年 11月 18日 東京5期 新宿みな万源館
  - 平成24年 5月 26日 東高2期 三河屋会館
- 同期生の交流を広げましょう。開催予定をご連絡ください。(同窓会事務局まで)

### 東京支部だより

松井 宏 (東高14期)

平成23年度(第34回)札幌市立高女・東高同窓会東京支部総会・懇親会が昨年11月13日(日)八重洲富士屋ホテルにて開催され、当番期は東高14期と38期でした。

母校から田端明雄校長、本部から川島大介同窓会会長、水谷洋一同窓会幹事長、さらに函館から恩師浅見祐治先生を御来賓として迎え、総勢170名の参加となり、総会に先立ち東日本大震災の被災者に向けて黙とうをささげました。

懇親会は佐藤貴昭氏(東高38期)の司会で開催され、御来賓の挨拶後、小山田修氏(原子力安全委員会委員 東高14期)による講演「東京電力株式会社・福島第一原子力発電所の事故について」が行われ、どのような事故が起きたのか、放射線による人体への影響について、の話を会場の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

今回は38期4名の初参加もあり、170名と多数の出席でしたが、東高45期(平成7卒)以降の若い世代の参加がみられませんでした。

首都圏への進学、就職が増加傾向とのこと、東京でも同窓会支部が活動していることを知らない方も多いかと思えます。機会がありましたら、東京にも東高同窓会があることをお話し頂ければと、札幌在住の皆様方をお願いします。

平成24年度(第35回)の東京支部総会・懇親会は11月11日(日)東京ガーデンパレスにて開催されます。

最後に今回の総会・懇親会に際し同窓の皆様及び株式会社「菊水」様から多数の御芳志を賜りましたことをご報告し、心よりお礼申し上げます。



講演に聴き入るみなさん 写真:大川亮夫(東高33期)

### 函館支部だより

嶋田 隆司 (東高27期)

昨年10月22日(土)、平成23年度第71回同窓会函館支部総会と懇親会をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。

支部会員は古河佑子支部会長ほか9名が出席し、札幌から中澤迪也同窓会副会長と藤島健士さんの参加をいただきました。

総会後の懇親会では、出席された皆様それぞれに近況などを語り合いながら、今回も家族的な雰囲気の中で楽しい一時を過ごしました。

少人数でもこれほど長く支部同窓会を続けられたことは、諸先輩方々の母校への思いがとても強いものであることを改めて感じました。

支部同窓会には若い会員の参加者が少なく今後に気がかりもありますが、札幌から離れた函館の地であるが故に、同窓の繋がりを大切にしつつ、僅かでも活動の手伝いをできればと思うとともに、母校と本部同窓会の益々の発展を願っております。



### 東高祭

7月5日(木)から7日(土)3日間の日程で「第63回東高祭」が行われました。

学校祭は、クラス単位で、POPアート(半立体の模型)・のど自慢・HR発表の3つの部門で競い合いました。最終日には3部門の得点の合計で総合優勝を決めました。

同窓会展示ルームでは、パネル展示の中で、今年作成した、歴代校舎のうち2代目・3代目のラミネート加工のポスターが掲げられ、過去の卒業アルバムの掲示などを行いました。飲み物サービスも大好評でした。母校担当の皆様、大変にお疲れ様でした。



### 第31回同窓会ゴルフ大会報告

同窓会ゴルフ大会が6月21日(木)、札幌芙蓉CCで総勢56名の参加者により盛大に開催されました。台風の影響が心配されましたが、曇天ながら北海道らしいゴルフ日和に恵まれました。また、例年になく若い期の参加が多いのが今大会の特徴でした。

表彰式前の昼食会では、配布資料「同窓会ゴルフ部会の歴史」(第1回~30回;個人戦の優勝者・準優勝者、団体戦の優勝期・準優勝期一覧と214名の個人別成績表一覧)により30年間にわたる当部会の歴史の一端を回想し、また先輩達の長年の努力に感謝しつつ歓談しました。

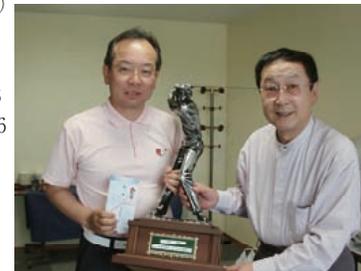
個人戦では初出場の28期・手島久仁彦氏、団体戦も28期が優勝し、若さ爆発の完全制覇となりました。ゴルフ大会は例年6月第3木曜日に開催しています。次年度も多数の参加を期待しております。(記:幹事長・濱田賢一(15期))

#### <個人戦>

優勝:手島久仁彦(28期) G79、H7.2、N71.8  
準優勝:西島 和明(18期) G88、H14.4、N73.6  
ベストスコア賞:手島久仁彦(28期) 79

#### <団体戦(Best 3合計)>

優勝:28期 N226.6  
準優勝:19期 N227.6



平成23年度札幌東高同窓会会務報告 平成23年7月1日～平成24年6月30日

1. 総会及び支部総会、役員会等

- (1) 第102回同窓会総会・懇親会／平成23年8月19日(金)午後6時～／於 札幌パークホテル
テーマ：『絆』／当番期：東高28期、42期、51期、61期出席者数480名
東日本大震災・津波 遺児募金 367,038円(あしなが育英会に)
(2) 支部総会
①第34回東京支部総会／平成23年11月13日(日)／於 八重洲富士屋ホテル 170名
②第71回函館支部総会／平成23年10月22日(土)／於 ホテル法華クラブ函館 9名
東京には川島会長、函館には川島会長・中澤副会長が出席
(3) 役員会
常任幹事会 平成24年1月21日(土)午後6時30分 於 中村屋旅館
会務中間報告、総会の終了報告および次回総会の準備状況報告等 出席54名
拡大幹事会 平成23年7月7日(木)午後6時30分 於 恵愛ビル
総会議案審議、会券配布等 出席67名
執行委員会など 平成23年11月12日(土)／恵愛ビル／執行委員会
平成23年11月21日(月)／四季の蔵／新旧総会当番期引継
平成23年11月22日(火)／四季の蔵／母校部会
平成23年12月2日(金)／おたる政寿司／総務部会
平成23年12月8日(木)／咲か蔵／組織部会
平成23年12月14日(水)／ホテルニューシティ／広報部会

2. 会誌の発行 「札幌東高校同窓会報」第39号の発刊・配布/3,000部印刷 平成23年8月19日(金)

3. 母校発展のための事業

- (1) 第62回東高祭支援／平成23年7月7日(木)～9日(土)／東高祭テーマ「衝動」
同窓会ルームを開設し、アルバム・パネル展示、在校生・来場者に飲み物を提供。
(2) 在校生支援／平成23年12月／学友会活動(学友会、体育部活動・文化部活動等)に助成実施。
(3) 職業人に聞く会への講師派遣／平成23年10月19日(水)／派遣講師数5名
(4) 難関大探訪旅費支援／平成24年3月
(5) 新入会員関係
①新入会員入会式／平成24年2月29日(水)／第62期卒業生新幹事委嘱、卒業記念品の贈呈
②新幹事セミナー／平成24年5月19日(土)午後6時／於 ホテルノースシティ
第62期新幹事の研修と交流会／出席27名

4. 本会の組織強化のための事業

- (1) ゴルフ同好会 第31回札幌東高校同窓会ゴルフ大会
平成24年6月21日(木)／札幌芙蓉カンントリーC／56名参加
(2) 「会員名簿」(平成18年6月発行)の頒布
頒布数1冊／頒布価格：1冊4,500円(送料込み)。
(名簿データの更新／会員の異動データを廣済堂にて更新)
(3) 同期会助成
一高2期、東高2期、3期、5期、6期、7期、8期、12期、19期、28期 各期に助成
(4) 終身会費会員
①平成8年度より継続して実施。
②平成23年6月30日現在総計210名(「終身会費会員証」を発行して送付)

5. その他執行委員会が必要と認めた事業

- ・ホームページの更新／同窓会・同窓生の行事に伴いその都度更新

同窓会事務局から

●住所などの変更はハガキで

住所・電話・勤務先など変更された会員は、事務局へハガキ、又はホームページよりお知らせ下さい。

●会費について

年会費と終身会費は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。
終身会費は一口一万円で何口でもお受けいたします。
会員各位の普段のご協力をお願いいたします。

●同好会に参加を

同好会の会員による懇親の集まりにふるってご参加下さい。今年はゴルフの同好会が開かれました。

●会報の送付を希望される方、その他ご意見などご連絡なく、事務局までお寄せ下さい。

北海道札幌東高等学校同窓会事務局
003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目(札幌東高等学校内) ☎ 011-831-6332
FAX 011-811-3952
事務局担当 曲木・望月・清水

終身会費納付状況

(平成24年6月現在)

札幌市立高等女学校 28名 札幌市立第一高等学校 78名 北海道札幌東高等学校 104名 計 210名

平成24年度札幌東高校同窓会事業計画 平成24年7月1日～平成25年6月30日

- 1. 定期総会及び幹事会・常任幹事会・各種役員会を開催し、同窓会事業の充実に努めます。
・第103回総会・懇親会 平成24年8月17日(金)場所 パークホテル
2. 会員の親睦を目的とした同期会・同好会に対する支援を行います。
・第32回同窓会ゴルフコンペ／平成25年6月20日(木)
3. 在校生に対し、学校祭協賛事業と体育・文化・学友会活動の助成を行う他、母校関係団体の運営と関連事業に積極的に参画します。
・学校祭(平成24年7月6日～7日)同窓会ルームの開設、飲み物サービス、展示物のリニューアル
・職業人に聞く会(平成24年10月17日)に講師(5～8名)派遣
4. 新入会員の同窓会入会式と新幹事研修会を開催し、組織強化を図ります。
・第63期生に対する入会式は平成24年2月28日(火)に開催
・61期生以降、卒業後3年間同窓会会報を送付し同窓会への認識強化(61・62期生640人に送付)
5. 会員名簿を頒布するほか、名簿の充実に継続して取り組む一方、同窓会の情報公開の在り方についてさらに検討を進めます。
・比較的天所変更が多い若い同窓会員の情報収集に関してメールの活用も検討
6. 終身会費制度を含む同窓会年会費の納入率向上に努めます。
・機会あるごとに年1,000円の会費納入をお願いし、24年度目標納入者数は1,300人
7. 「札幌東高等学校同窓会報」第40号を発行します。
・マンネリを防ぐ意味で、第41号での新趣向を検討
8. 同窓会ホームページの充実に努めます。
・最低毎月1回の更新
・ホームページへの訪問者数(現在17人/日)の増加対策
9. 会員増加と母校・同窓会の将来に備え、事務局体制や役員会組織の強化・効率化を図ります。
・常任幹事、幹事を見直し、必要に応じ補充・交代
10. 支部に関する規定を協議し、必要に応じ会則改定を検討します。
・正会員の多い東京支部(仮称)との調整

母校百周年記念事業や同窓会総会百回記念事業に、会員の総意を結集して参画した成果を踏まえ、次の世紀を展望しつつ母校の発展に寄与します。

同窓会役員名簿

平成24年8月現在

Table with columns: 役職, 氏名, 期. Lists members for various roles including 顧問, 相談役, 会長, 副会長, 監査役, 事務局, 幹事長, 副幹事長, 常任幹事.

# 会計報告

## 一般会計

科目	平成23年度決算				平成24年度予算	
	予算額	決算額	増減	摘要	予算額	増減(対H23予算)
前年度繰越金	442,319	442,319	0		864,999	422,680
新入会員会費	1,600,000	1,595,000	△ 5,000	H24.3卒業生分	1,600,000	0
会費	500,000	592,400	92,400	年会費・終身会費	500,000	0
支部協力金	40,000	43,000	3,000	東京・函館など	40,000	0
雑収入	500,000	576,191	76,191	総会余剰金・名簿還元金他	500,000	0
合計	3,082,319	3,248,910	166,591		3,504,999	422,680

科目	平成23年度決算				平成24年度予算	
	予算額	決算額	増減	摘要	予算額	増減(対H23予算)
事務局費	60,000	54,040	5,960	諸会議交通費・払出手数料他	60,000	0
事務用品費	10,000	11,358	△ 1,358	事務用消耗品	10,000	0
印刷費	150,000	46,200	103,800	諸印刷(封筒など)	150,000	0
通信費	200,000	134,708	65,292	切手・葉書・振込手数料	200,000	0
慶弔費	100,000	102,810	△ 2,810	弔電・錢別など	100,000	0
会議費	700,000	582,920	117,080	役員会他	700,000	0
総会関係費	300,000	300,000	0	総会準備金	300,000	0
会報発行費	210,000	206,220	3,780	会報印刷費、送料	250,000	40,000
学校祭関係費	150,000	120,210	29,790	学校祭協賛諸費・パネル作製	200,000	50,000
同期会等助成費	200,000	113,480	86,520	同期会・同好会助成	200,000	0
新会員関係費	180,000	179,445	555	記念品、研修費	300,000	120,000
体育文化助成費等	130,000	130,000	0	体文・学友会・後援会助成	130,000	0
母校行事助成費	150,000	102,440	47,560	芸術鑑賞会・職業人に聞く会助成	250,000	100,000
H P構築・維持費	100,000	100,080	△ 80	ホスティング料金・メンテナンス料金	100,000	0
特別会計積立金	200,000	200,000	0		200,000	0
予備費	242,319	0	242,319		354,999	112,680
合計	3,082,319	2,383,911	698,408		3,504,999	422,680

## 特別会計他積立金決算

項目	22年度末 繰越額	増額		減額		23年度末 決算額
		金額	事由	金額	事由	
特別会計積立金	2,145,200	200,000	一般会計より	525	残高証明書	2,345,131
預かり金計(周年事業基金)	2,812,523	50,000	PTA助成	525	残高証明書	2,861,998
合計	4,957,723	250,456		1,050		5,207,129

## 同期会助成金について

親睦の和を広げる同期会の助成金について、お知らせいたします。

- (1) 目的 同期間の交流を拡大し会員の親睦を深める。
- (2) 基準 卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。(地域又は一部を対象とする会は除外する。)
- (3) 金額 1回につき、10,000円とする。但し、初回は30,000円とする。
- (4) 手続 同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送又はファックス送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当者とする。  
※事務局のファックス番号は、P 6を参照



今年度の会報をお届けいたします。ご多忙中、原稿をお寄せ頂きました皆様方には深甚なる感謝を申し上げます。

なお、同期会周年行事情報など寄稿を同窓会広報部にお知らせ下さい。

広報部 部長 陣内 幸則(東高9期) 編集長 村山 忠司(東高26期)  
 小林 幸子(一高1期) 相沢 徹(東高15期)  
 太田 廣幸(東高20期) 小林 靖弘(東高23期)  
 村木 昭彦(東高27期)

会報希望の方は母校清水事務局長へお申し出下さい。